

# ゆずりは

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは  
会報誌第20号 令和4年4月15日発行



## ごあいさつ

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは  
代表理事 和泉 喜久男

皆様のお陰をもちまして、コロナ感染防止のため延期となっていました本法人設立10周年記念コンサート（第10回ゆずりはコンサート）は、感染防止対策を徹底することで今年の2月13日（日）神戸新聞松方ホールにおいて、盛況のうちに終演することができました。先ずこのことをご報告させていただき、これまでの皆様のご支援、ご協力に心から厚くお礼を申し上げます。

上記コンサートは、第1回ゆずりはコンサートと同じ会場で開催させていただきましたが、その第1回に出演しました秋元孝介さんは、当時兵庫県立西宮高等学校3年生でした。その彼が、2018年に開催された第67回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門（葵トリオ）でピアノを担当し、日本人初の優勝を果たしています。是非とも本法人設立10周年記念コンサートにふさわしい演奏者として連絡を取ったところ、「ゆずりはの会員だったことで実践を積ませてくれ、いい経験になった」と、日本とヨーロッパで演奏活動を行いながらも、設立10周年コンサートには是非出演をさせて頂きたいと二度も日程調整をしてくれました。その出演がきっかけで、ピアノコンチェルトも演奏することになり、ゆずりはコンサートでは初めて管弦楽団を編成することができました。このことは、これからのコンサートに新たな一歩を踏みだしたように思います。

本法人では、これまで、保育所や幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、病院、ホテル、介護施設、自治体など様々な団体から演奏依頼を頂き、できるだけコストを抑えた依頼者の思いに沿った音楽構成を提案し演奏をしています。音楽に関するイベントを企画される際には、是非本法人に声をかけて頂ければ幸いです。

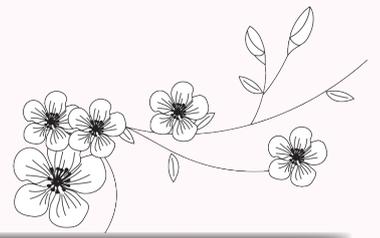
これからも若手演奏家の支援、そしてその情熱的な演奏を聴いていただくことにより、心豊かな社会づくりに貢献をして行きたいと思っております。本法人への更なるご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 第7回 音楽のひろば～クラシック音楽をもっと身近に！

2022年8月7日（日）13時開演予定  
兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

法人名の由来である「ユズリハ」という植物の名は、新しい葉が伸びて古い葉が落ちることから、世代が絶えることなく引き継がれていくことを意味しています。この「ユズリハ」のように私たちの活動も、芸術家を目指している若い演奏家の育成を目的としています。また、その活動がこころ豊かな社会づくりに貢献することを願っています。

## Stage 1



# 設立10周年記念 第10回ゆずりはコンサート ～東日本大震災被災地支援～ 2022.2.13 神戸新聞松方ホール



**フルートとピアノの三重奏**  
大村 優希恵 (フルート)：写真右  
野村 茉由 (フルート)：写真左  
藤田 菜央 (ピアノ)

### お客様の声 (アンケート) より

★ 設立10周年誠におめでとうございます。毎回楽しみにしております。★ 素晴らしい演奏でした。曲目も華やかな曲が多く、一足早い春を感じました。若き演奏家のみなさまにエールを送ります！★ すばらしかったです。管弦楽団も良かったし、特にオペラと秋元さんのピアノには感動しました。★ ピアノの秋元氏、圧倒的でした！★ ゆずりはの木の温もりを感じた至福の1日、ありがとうございました。★ 楽しい時間をありがとう！★ みなさん素晴らしい演奏でした。益々のご活躍を応援しています。★ 大森花さんのオペラ、迫力がありすばらしかったです。若手の皆様のパワーをいただきました。★ 十分に楽しめました。今回は特にゴージャスだった。★ どれも素晴らしい演奏で、コロナで沈んだ気持ちが晴れました。やはり音楽は人の心をいやし、力と勇気を与えるものでした。ありがとうございました。★ 全ての演目において何度も聴きたくなる程良質の音で、生命力を与える魂的な癒しが得られました。★ このような時でもコンサートを開催され若き演奏家の方々の活動を支援されることは本当に素晴らしいと思います。★ 出演者の皆様からのメッセージの紹介が心に響き、より一層、ひきつけられました。★ 感動をありがとう。★ コロナで気持ちが沈みがちな中、とても素晴らしい機会をいただき感謝しています。やはりどんな時でも こういう機会は必要だと思います。



**ピアノ連弾**  
誉田 真弓：写真奥  
塚本 美美香：写真手前



**ソプラノ独唱**  
大森 花 (ソプラノ)  
平本 直規 (ピアノ伴奏)

## Stage 2



第2部では、兵庫県立西宮高等学校音楽科でオーケストラの指導をなさっている上田真紀郎先生を客演指揮者としてお招きし、交響曲、ピアノ協奏曲を演奏しました。

### 交響曲

上田 真紀郎 (客演指揮)

ゆずりは管弦楽団

コンサートミストレス 正司 円

ヴァイオリン 岡村 友加里・加納あゆり・河村 真央  
関口 林音・廣田 真理衣・村上 順子  
山本 真彩・米井 遥香

ヴィオラ 加茂 夏来・原田 詩穂・平井 菜月美

チェロ 大熊 勇希・片岡 あづさ

コントラバス 山田 尚代

フルート 三田 智美

オーボエ 西林 彩菜・裊 紗蘭

クラリネット 平塚 友美・藤田 華

ファゴット 小西 紗耶加・山本 理恵

ホルン 池田 留位・野村 美桜

以上五十音順

### ピアノ協奏曲

### ピアノ独奏

秋元 孝介 (ゲストピアニスト)

### 大森 花さん (ソプラノ・ステージ1 出演)

#### 演奏前のコメントより

モーツァルトのアレルヤと椿姫のARIAは、ゆずりはの10周年をお祝いするにふさわしい、華やかな選曲をさせていただきました。2曲目に歌う高田三郎のくちなしという曲は、くちなしの花をみて亡き父の教えを思い出すという内容です。終盤の歌詞の中で、“くちなしの実のように待ちこがれつつひたすらに こがれ生きよ”という言葉があります。くちなしの実は自分から開くことはありませんが、他の鳥や動物に食べてもらい、はじめてその役割を果たすそうです。それまでの間じっと機を待ち内側を熟させる。

私たち音楽家も、コロナの間は私たち自身の内側を熟する時なのかもしれません。くちなしの花のように、再び美しく咲き誇る日を願いながら、心を込めて歌いたいと思います。

### 正司 円さん (コンサートミストレス)

#### 演奏後のコメントより

10周年演奏会ということで、延期となっても乗せていただけたことに感謝しております。

演奏家となる地盤を築いていただいた県西時代の同期先輩後輩と、卒業してこうして一堂に会することの幸せは言葉では言い表せません。

世界で活躍する秋元くんの素晴らしいピアノと、明快な上田先生の指揮はととも勉強になりました。

また、このコロナ禍での開催にご尽力くださったゆずりはの皆さまと、ご来場いただいた全てのお客様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

.....出演.....

松本 洋子 (クラリネット) 西山 菜々子 (バスクラリネット)  
唐仁原 加苗 (アルトサクソフス) 玉田 敏洋 (バリトンサクソフス)

西宮市アウトリーチ事業  
低学年プログラム  
2022.3.3  
西宮市立南甲子園小学校



子供たちと一緒に話しよう！

Clax カルテット 松本 洋子

今回の私たちの演奏は、小学校低学年向けのアウトリーチ事業ということで、見ても聴いてもどちらでも楽しめる内容で演目を構成してみました。また楽器紹介では、クラリネットとサクソフォンの見た目や音色の違いを、聴き比べだけでなく子供たちの身の周りにある机などを用いて、楽器の長さや重さに着目した紹介にしました。その他にもこどもたちの反応や様子をひとつひとつ大切に受け止めながら、クイズやリズム打ちを取り入れるなど「演奏を通じてお話ができる」ように工夫を凝らしました。

演奏中は、こどもたちのキラキラした目や表情を見ることができて大変嬉しかったです。手拍子とともに私たちも一緒にテンションが上がり、とても楽しく演奏することができました。アウトリーチ終了後は感動で胸がいっぱいでした。

今回1日3公演という機会を頂けたことは、公演ごとにMCの言葉選びや進行内容、時間配分が違うなど学ぶことが多く、大変勉強になりました。今後はこの貴重な経験を糧に、私たちの活動により一層力を入れて頑張っていきたいと思えます。

## Spring Concert

お客様に  
心安らぐ春のひとときをお届けしました。

.....出演.....

池田：松本 洋子 (クラリネット)・二ノ宮 由梨奈 (ピアノ)

仁川：西堀 志保 (フルート) 陶山 咲希 (ファゴット)  
宇治澤 一光 (ピアノ)

エテルノ池田 20  
22.2.26  
エテルノ仁川  
2022.3.27



発行・お問い合わせ先：NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは

Tel. 070-5652-8878(事務局)

Mail: yuzuriha.office@gmail.com ホームページ: <http://yuzuriha-art.or.jp/>

